

# Panasonic

カラーテレビカメラ

## 取扱説明書

工事説明書別添付

品番 WV-CW474F

### もくじ

#### はじめに

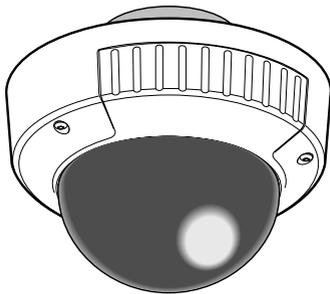
商品概要.....	2
付属品をご確認ください.....	2
安全上のご注意.....	3
使用上のお願い.....	6
各部の名前とはたらき.....	8

#### 設定のしかた

設定メニューと基本操作.....	10
カメラタイトルを設定する.....	18
SUPER-D II 機能を設定する.....	20
電源同期モード(LL)の位相を調節する.....	23
ホワイトバランスを微調節する.....	25
モーションディテクターを設定する.....	26
カメラの画質を調節する.....	29

#### その他

仕様.....	33
保証とアフターサービス.....	34



上手に使うって上手に節電

### 保証書別添付

このたびは、カラーテレビカメラをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

- この取扱説明書と別冊の工事説明書、保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと保存し、必要なときにお読みください。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

はじめに

設定のしかた

その他

## 商品概要

本機は1/3型CCDを搭載したカラーテレビカメラです。主な特長は次のとおりです。

- 高感度CCD (charge coupled device) やDSP (digital signal processor) により高感度を実現。
- SUPER-DII (スーパーダイナミックII) 方式の採用により、照度差の激しい被写体も鮮明に撮影できます。
- 夜間などの低照度時、自動的に白黒モードへ切り換えることができ、被写体を鮮明に撮影できます。
- ノイズリダクション (映像のノイズを減少) により、最低照度がカラーモード2.4 lx、白黒モード0.3 lxの高感度を実現しています。別売りのドームカバー (WV-CW1C) を使用すれば、カラーモード0.8 lx、白黒モード0.1 lxでも撮影できます。
- 監視中、モニター画面内に動きが生じた場合、アラーム信号を送出できます (モーションディテクター機能)。この機能を使うことにより、夜間の人の侵入に反応して、VTR録画するといった監視システムを構築できます。

## 付属品をご確認ください

ドライバービット .....	1	工事説明書 .....	1
取扱説明書 (本書) .....	1		
保証書 .....	1		

# 安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。



## 警告

この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。



## 注意

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみ発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。



この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。



## 警告

### 工事は販売店に依頼する



工事には技術と経験が必要です。火災、感電、けが、器物損壊の原因になります。

- 必ず販売店にご依頼ください。

### 異物を入れない



禁止

水や金属が内部にはいると、火災や感電の原因になります。

- ただちに電源を切ってから、販売店にご連絡ください。

## 警告

### 分解しない、改造しない



火災や感電の原因になります。

#### 分解禁止

- 修理や点検は、販売店にご連絡ください。

### 異常があるときは、 すぐ使用をやめる



煙が出る、臭いがするなど、そのまま使用すると火災の原因になります。

- ただちに電源を切ってから、販売店にご連絡ください。

### 電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない

( 傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、  
ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたり、束ねたりしない )



傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。

#### 禁止

- コードやプラグの修理は販売店にご相談ください。

### 可燃性雰囲気中使用しない



爆発し、けがの原因となります。

#### 禁止

### 定期的に点検する



金具やねじがさびると、落下などでけがの原因となります。

- 点検は販売店に依頼してください。

## 注意

お手入れのときは電源を切る



感電の原因となります。

# 使用上のお願い

**⚠警告**、**⚠注意** に記載されている内容とともに、以下の項目をお守りください。

## ●長時間安定した性能でお使いいただくために

高温・多湿で長時間連続使用すると、部品の劣化により寿命が短くなります。(推奨温度40℃以下) 設置場所の放熱や暖房などの熱が直接当たらないようにしてください。周囲温度-10℃～+50℃、湿度は90%以下の場所でお使いください。

## ●ドームカバーに直接触れないでください

カバーが汚れると画質劣化の原因となります。

## ●ドームカバーに強い衝撃を与えないでください。

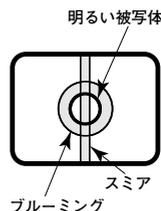
破損、浸水の原因となります。

## ●CCD色フィルターの焼き付きについて

画面の一部分にスポット光のような明るい部分があると、CCD内部の色フィルターが劣化して、その部分に変色することがあります。固定監視の向きを変えた場合など、前の画面にスポット光があると変色して残ります。

## ●強い光にカメラを向けないでください

画面の一部分にスポット光のような強い光があると、ブルーミング(強い光の周りがにじむ現象)、スミア(強い光の上下に縦縞が発生する現象)を生じることがあります。



## ●取り扱いはていねいに

落としたり強い衝撃や振動を与えないでください。故障の原因になります。

## ●本機に電源スイッチはありません

電源を切るときは、電源ブレーカーを切ってください。

## ●お手入れは

お手入れは、安全のためブレーカーを切ってから行ってください。けがの原因になります。ペンジン・シンナーなど揮発性のものをかけたり、使用したりしないでください。ケースが変色することがあります。化学ぞうきんを使用の際は、その注意書きに従ってください。

---

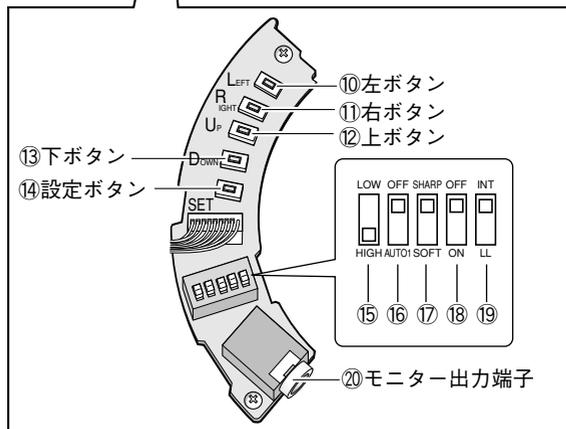
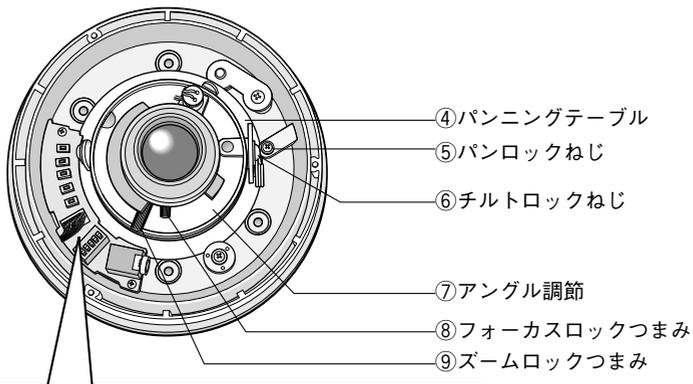
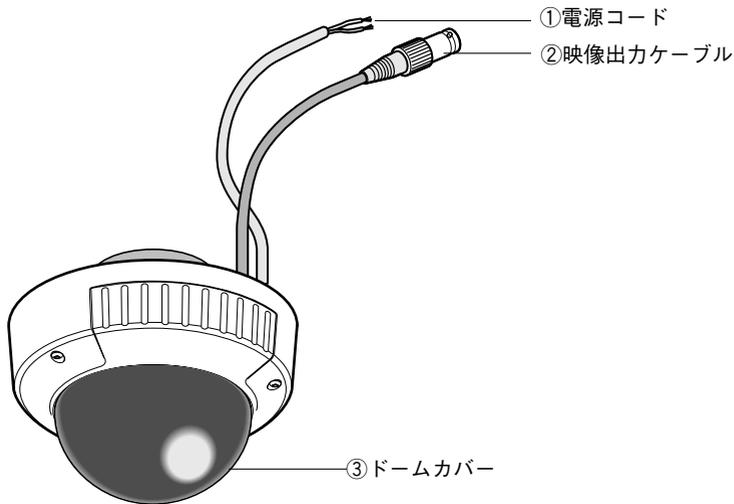
**●汚れがひどいときは**

うすめた台所用洗剤（中性）をやわらかい布にしみこませ、よくしぼり、軽く拭いてください。そのあと、乾拭きしてください。

**●きれいな画面を得るためには**

1か月に一度、ドームカバーを清掃すると、きれいな画面を得られます。

# 各部の名前とはたらき



- ①電源コード
- ②映像出力ケーブル
- ③ドームカバー
- ④パンニングテーブル  
カメラのパンニングを調節します。
- ⑤パンロックねじ  
パンニングの位置を固定します。
- ⑥チルトロックねじ  
チルトの位置を固定します。
- ⑦アングル調節  
カメラのアングルを調節します。
- ⑧フォーカスロックつまみ  
フォーカス位置を固定します。
- ⑨ズームロックつまみ  
ズーム位置を固定します。
- ⑩左ボタン  
カーソルを左に動かしたり、設定内容を切り換えます。
- ⑪右ボタン  
カーソルを右に動かしたり、設定内容を切り換えます。
- ⑫上ボタン  
カーソルを上動かして、設定メニューを選択します。
- ⑬下ボタン  
カーソルを下に動かして、設定メニューを選択します。
- ⑭設定ボタン  
設定内容を確定します。
- ⑮レベルスイッチ (SW5)  
白黒映像に切り換える照度を設定します。この設定は設定メニューでも行えます。(→31ページ)
- ⑯BWスイッチ (SW4)  
画面の明るさ(照度)によって、カラー映像と白黒映像を自動的に切り換える設定を行います。この設定は設定メニューでも行えます。(→31ページ)
- ⑰AP GAINスイッチ (SW3)  
アパーチャレベルを設定します。SHARP/SOFTのどちらかを設定します。この設定は設定メニューでも行えます。(→29ページ)
- ⑱UPSIDE DOWNスイッチ (SW2)  
画像を反転するかどうかON/OFFで設定します。この設定は設定メニューでも行えます。(→29ページ)
- ⑲SYNCスイッチ (SW1)  
同期方法を設定します。電源同期信号(LL) / 内部同期信号(INT)のどちらかを選択します。この設定は設定メニューでも行えます。(→23ページ)  
**<重要！>**  
電源同期モードは60 Hz地域でのみ使用できます。50 Hz地域でお使いの場合は、必ず内部同期信号(INT)に設定してください。
- ⑳モニター出力端子  
本機を設置する際に確認用のモニターを接続します。  
**<重要！>**  
⑮⑯⑰⑱⑲は設定メニューでも設定できます。ディップスイッチ、設定メニューどちらの設定を有効にするかは、設定メニューで設定します。詳しくは、12ページをお読みください。

# 設定メニューと基本操作

本機の各機能の設定は、設定メニューをモニター画面に表示して行います。設定メニューでは、以下の機能を設定できます。

設定メニュー	内容	参照ページ
CAMERA ID	カメラタイトルの設定	13, 18
ALC	カメラに入る光量制御方式の設定	13, 20
SHUTTER	シャッタースピードの設定	13
AGC	ゲインコントロールの設定	14
SENS UP	電子感度アップの設定	14
SYNC	同期方法の設定	15, 23
WHITE BAL	ホワイトバランス方式の設定	15, 25
MOTION DET	モーションディテクターの設定	16, 26
SPECIAL	カメラの画質調節	17, 29

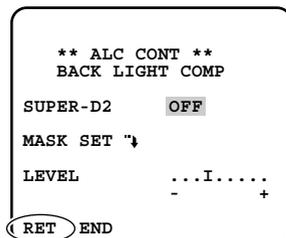
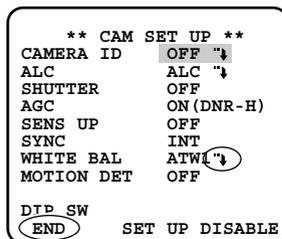
## 設定メニューの画面表示について

各設定画面の共通の表示については以下のとおりです。

“↓”：設定項目の右側に表示され、その設定項目には詳細項目を設定するサブメニューがあることを示しています。

END：設定メニューを終了し、通常の映像画面に戻ります。

RET：画面の左下に表示され、ひとつ上の階層の画面に戻ります。



## 設定メニューの基本操作

- 1 設定ボタンを2秒以上押し続ける。  
→設定メニュー画面が表示されます。

```
  ** CAM SET UP **
CAMERA ID  OFF  ↵
ALC        ALC  ↵
SHUTTER    OFF
AGC        ON (DNR-H)
SENS UP    OFF
SYNC       INT
WHITE BAL  ATW1 ↵
MOTION DET OFF

DIP SW
END        SET UP DISABLE
```

- 2 設定メニューを操作できるよう設定モードを切り換える。  
下ボタンまたは上ボタンを押して、カーソルを「END」に合わせる。

- 3 右ボタンを押し、カーソルを「SET UP」に合わせる。

- 4 設定ボタンを押し、設定モードを「DISABLE」から「ENABLE」に切り換える。  
→設定メニューが設定できる状態になります。

### <重要！>

リモートコントローラーから設定メニューを表示するときは、最初から「ENABLE」と表示されます。

```
  ** CAM SET UP **
CAMERA ID  OFF  ↵
ALC        ALC  ↵
SHUTTER    OFF
AGC        ON (DNR-H)
SENS UP    OFF
SYNC       INT
WHITE BAL  ATW1 ↵
MOTION DET OFF

DIP SW
END        SET UP ENABLE
```

- 5 各機能の設定を行う。

設定メニューの選択 : 上ボタンまたは下ボタンを押して、カーソルを設定したいメニューに合わせます。

設定内容の切り換え : 左ボタンまたは右ボタンを押します。

設定内容の確定 : 他のメニューにカーソルを移動すると確定されます。

サブメニューの表示 : ↵ が表示されているメニューにカーソルを合わせ、設定ボタンを押します。

上の階層の画面に戻る : 「RET」にカーソルを合わせ、設定ボタンを押します。

### <重要！>

リモートコントローラーから設定するときは各コントローラーの取扱説明書をお読みください。

- 6 設定メニューを終了するときは、「END」にカーソルを合わせ、設定ボタンを押す。  
→通常の映像画面に戻ります。

# 設定メニューと基本操作

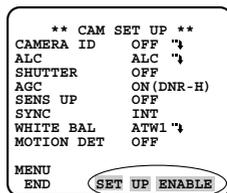
## <重要！>

設定メニュー画面を表示させたまま、5分間何も操作しないと、自動的に設定メニューの画面が終了し、通常の映像画面に戻ります（リモートコントローラーからのメニュー操作時は戻りません）。

## <設定メニューを操作するときとは>

本機では誤操作を防止するために、設定メニューを表示させたとき、設定モードは「DISABLE」（操作不可の状態）になっています。設定メニューを操作するときには、設定モードを「ENABLE」に切り換えてください。

（リモートコントローラーから設定メニューを表示するとき、最初から「ENABLE」と表示されます。）



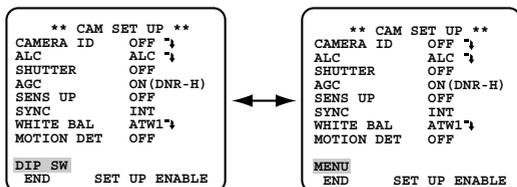
## <ディップスイッチで設定できるメニューについて>

設定メニューの一部はディップスイッチでも操作できます。ディップスイッチで操作できるメニューについては9ページをお読みください。

どちらの設定を有効にするかは設定メニュー画面で設定します。「DIP SW」にカーソルを合わせ、設定ボタンを押すたびに、「DIP SW」と「MENU」が切り換わります。

ディップスイッチの設定を有効にする：「DIP SW」に設定

設定メニューの設定を有効にする：「MENU」に設定



## 設定メニューについて

	** CAM SET UP **	
①	CAMERA ID	OFF ↕
②	ALC	ALC ↕
③	SHUTTER	OFF
④	AGC	ON (DNR-H)
⑤	SENS UP	OFF
⑥	SYNC	INT
⑦	WHITE BAL	ATW1 ↕
⑧	MOTION DET	OFF
	MENU	
⑨	END	SET UP DISABLE

### ①カメラタイトルの設定 (CAMERA ID)

カメラの設置場所などを示すタイトルを作成し、画面に表示します。  
文字の入力方法など詳細は18ページをお読みください。

### ②光量制御方式の設定 (ALC)

SUPER-DII 機能のON/OFFの設定と映像出力レベルの調節を行います。  
SUPER-DII 機能についての詳細は20ページをお読みください。  
映像出力レベルの調節については22ページの手順7をお読みください。

### ③シャッター機能の設定 (SHUTTER)

電子シャッターのスピードを設定します。

設定できるスピード：OFF、1/100、1/250、1/500、1/1000、  
1/2000、1/4000、1/10000

#### <重要！>

SUPER-DII 機能を設定している場合、シャッター機能は OFF、1/100のみ使用できます。

# 設定メニューと基本操作

## ④ゲインコントロール設定 (AGC)

被写体が低照度のとき、自動的にノイズリダクション機能を働かせて、ノイズを低減します。ただし、動きのある被写体では残像が発生することがあります。

ON(DNR-H) : 被写体の照度が暗くなると、自動的にゲインを上げ、画面を明るくします。

ON(DNR-L) : ON(DNR-H) に設定し、残像が気になる場合に設定します。  
ON(DNR-H) に設定したときより、若干ノイズが増加します。

OFF : ゲインをあげません (通常の映像のままです)。

<重要!>

システム機器側のステータス表示では、DNR-H、DNR-Lの表示にはなりません。

## ⑤電子感度アップ設定 (SENS UP)

電子感度アップの倍率を設定します。

設定できる倍率 : OFF、X2 AUTO、X4 AUTO、X6 AUTO、X10 AUTO、  
X2 FIX、X4 FIX、X6 FIX、X10 FIX、X16 FIX、  
X32 FIX

<重要!>

- AUTOモードに設定した場合、自動的にゲインコントロール設定もONになります。
- 光量制御方式 (ALC) でSUPER-DII 機能を設定している場合、FIX設定はできません。また、電子感度アップ (SENS UP) をAUTOに設定した場合、電子感度アップの動作中はSUPER-DII 機能は機能しません。
- 倍率を上げると画面がざらついたり、白っぽくなったり、傷が現れる場合がありますが、異常ではありません。
- 電子シャッター (SHUTTER) を1/100に設定しているときは、AUTOモードのみ動作します。FIXモードは機能しません。

## ⑥同期方法設定 (SYNC)

同期方法を設定します。

設定できる同期信号の種類と優先順位は次のようになっています。

- ①多重化垂直ドライブ信号 (VD2) (最優先)
- ②電源同期信号 (LL) ※電源の周波数を元に同期を合わせます。
- ③内部同期信号 (INT) (最下位)

電源同期モード (LL) を設定した場合、位相を調節する必要があります。詳しくは23ページをお読みください。

### <重要！>

- 50 Hz地域では使用できません。
- VD2で同期を合わせる場合、この設定は無効になります。
- この設定はディップスイッチ (SW1) でも行えます。詳しくは9ページをお読みください。

## ⑦ホワイトバランス設定 (WHITE BAL)

ホワイトバランスを自動調節する方式を設定します。設定したあと、手動で微調節することもできます。詳しくは25ページをお読みください (工場出荷時の設定は「ATW1」です)。

ATW1 : カメラが色温度を継続的に確認し、ホワイトバランスを自動調節します。(自動色温度追尾モード)

ATW2 : ナトリウム灯下で最適なホワイトバランスに自動調節します。(ナトリウム灯自動色温度追尾モード)

AWC : ホワイトバランスを自動調節しません (自動ホワイトバランスコントロールモード)。「AWC」を選択したら、左ボタンを押し「AWC→PUSH SW」に切り換え、設定ボタンを押します。調節中は、「PUSH SW」が反転表示になります。「PUSH SW」の反転表示が元に戻ったら、ホワイトバランスの調節は終了です。

# 設定メニューと基本操作

## <重要！>

- 「ATW1」の動作範囲は、約2600 Kから約6000 Kです。色温度がこの範囲以外のときは、「AWC」にしてください。
- 下記の条件下で「ATW1」では色が忠実に再現できないため、「AWC」にしてください。
  - ・ 被写体の大部分が強烈的な色であるか、光源がぬけるような青空や夕暮れ時の太陽の場合
  - ・ 被写体を照らす照明が暗いとき
- 「AWC」では、約2300 Kから約10000 Kの間で適正なホワイトバランスが得られます。上記補正範囲から外れていたり、被写体を照らす照明が暗いときはホワイトバランスが完全にはとれないことがあります。この時「PUSH SW」は反転表示のままです。
- システム機器側のステータス表示では、ATW1、ATW2の表示にはなりません。

## ⑧モーションディテクター設定 (MOTION DET)

監視中、モニター画面内に動きが生じた場合、アラーム信号を送出するよう設定できます（モーションディテクター機能）。

ON : モーションディテクターを設定する

OFF : モーションディテクターを設定しない

モーションディテクターを設定する場合、検出レベルや範囲など詳細設定が必要です。詳しくは、26ページをお読みください。

## <重要！>

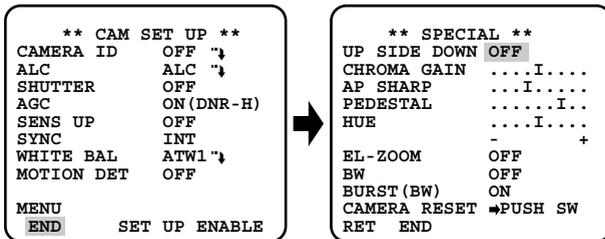
- 「ON」にすると、映像信号のブランキング期間にアラームデータを出力します。このため、ブランキング期間を使用する機器（タイムコードを使用するVTRなど）は誤動作します。したがって、ブランキング期間を使用する機器と組み合わせて使用するときは「OFF」にしてください。
- 蛍光灯下のフリッカのある被写体では誤動作する場合があります。
- 車のヘッドライトや照明のON/OFFなどにより、被写体の照度が急激に変化する場合は誤って検出することがあります。

- カメラが動きを検出してからVTRなどのアラーム端子までアラーム信号を送るのに約0.2秒の遅れがあります。
- この機能は盗難、火災などを防止するための専用装置ではありません。万一発生した事故や損害に対する責任は一切、負いかねます。

## ⑨カメラの画質調節 (SPECIAL)

カメラの画質に関する設定を行います。

「END」にカーソルを合わせ、左ボタンを押しながら右ボタンを2秒間押し続けると、SPECIAL設定画面が表示されます。



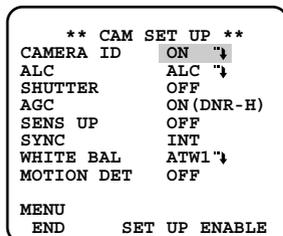
設定できる項目は以下のとおりです。

設定メニュー	内容	参照ページ
UP SIDE DOWN	画像の上下反転	29
CHROMA GAIN	クロマレベル（色度）の調節	29
AP SHARP/AP SOFT	アパーチャレベルの調節	29
PEDESTAL	ペDESTアルレベルの調節	29
HUE	クロマ位相（色調）の調節	30
EL-ZOOM	電子ズームの調節	30
BW	カラー映像と白黒映像の切り換え	31
BURST (BW)	バースト信号の出力設定	32
CAMERA RESET	設定内容のリセット	32

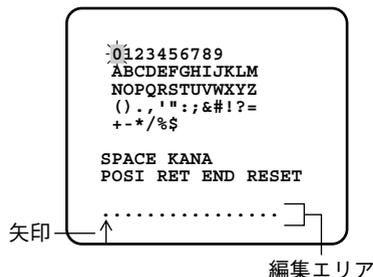
# カメラタイトルを設定する

カメラの設置場所などを示すタイトルを設定し、画面上に表示させます。  
設定できる文字数は半角英数字16文字までです。

- 1 「CAMERA ID」を「ON」に設定し、設定ボタンを押す。  
→タイトル作成画面が表示されます。

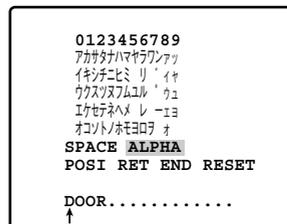


- 2 左ボタン、右ボタン、上ボタン、下ボタンを押して、入力したい文字の上にカーソルを合わせ、設定ボタンを押してタイトルを作成する。  
→タイトル作成画面の下の編集エリアに入力した文字が表示されます。



## <カタカナを入力したいときは>

カーソルを「KANJI」に合わせ、設定ボタンを押すと、タイトル作成画面のアルファベット表示がカタカナ表示に変わります。  
「ALPHA」にカーソルを合わせて設定ボタンを押すと、アルファベット表示に変わります。



## <文字を変更・削除したいときは>

下ボタンを押して、カーソルを編集エリアに移動させます。左ボタン、右ボタンを押して、↑（矢印）を変更・削除したい文字に合わせます。  
変更するとき、カーソルを入力したい文字に合わせ、設定ボタンを押します。  
全ての文字を削除するとき、上ボタンを押して、「RESET」にカーソルを合わせ、設定ボタンを押します。

## <スペース（空白）を入れたいときは>

カーソルを「SPACE」に合わせ、設定ボタンを押します。  
既に文字が入力されている場合、その文字の上にスペース（空白）が上書きされるため、元の文字は消去されます。

- 3 タイトルを作成し終わったら、「POSI」にカーソルを合わせ、設定ボタンを押す。

→表示位置設定画面が表示されます。

- 4 左ボタン、右ボタン、上ボタン、下ボタンを押して、タイトルを表示する位置を決め、設定ボタンを押す。

→タイトル作成画面に戻ります。

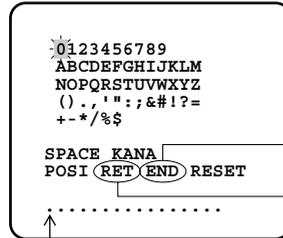


<カーソルを早く動かすには>

左ボタン、右ボタン、上ボタン、下ボタンを長押し（2秒以上）すると、カーソルが早く動きます。

- 5 設定メニュー画面に戻るときは「RET」にカーソルを合わせ、設定ボタンを押す。

通常の映像画面に戻るときは「END」にカーソルを合わせ、設定ボタンを押す。



映像画面に戻る

設定メニュー画面に戻る

<重要！>

カメラタイトルの表示位置をモニターの端ぎりぎりに設定しないでください。

# SUPER-D II 機能を設定する

## SUPER-D II 機能について

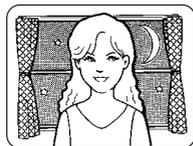
画面中央に被写体を映している場合、背景にスポットライトのような明るい照明があると、カメラは明るい部分に合わせて絞りを設定してしまうため、被写体が暗くなってしまいます。

この現象を解消するために、本カメラではスーパーダイナミック（SUPER-D II）方式を採用しています。この方式は、通常のカメラの約64倍のダイナミックレンジを確保できるため、逆光に対して大変効果的です。

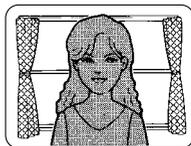
SUPER-D IIには、ONモード、OFFモードがあります。

[SUPER-D II機能を働かせない場合]

夜間

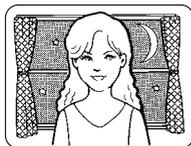


日中



[SUPER-D II機能を働かせた場合]

夜間



日中



ONモード : 常にSUPER-D II 機能を働かせます。工場出荷時はこの設定になっています。

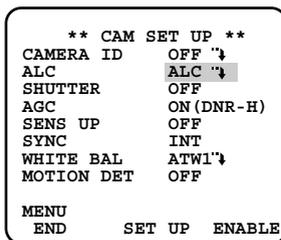
OFFモード : SUPER-D II 機能を停止します。この場合、手動で背景の明るい部分にマスクをかけ（隠し）、画面中央の被写体をはっきり映るように設定できます。

### <重要！>

- SUPER-D II をONモードにすると、次に示す項目の設定内容が制限されます。  
SHUTTER : OFF、1/100のみ切替可能  
SENS UP : OFF、AUTOのみ切替可能
- SUPER-D II をONモードにして使用するときには、レベルを少し上げ気味に設定するとより効果が得られます（22ページ）。ただし、レベルを上げすぎると、ちらつきやノイズなどが多くなる場合があります。
- 照明の条件によって下記のような現象が見られるときは、OFFモードでご使用ください。
  - ・画面のちらつきや色の変化が生じる場合
  - ・画面上の明るい部分にノイズが生じる場合

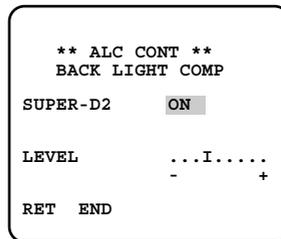
# 設定のしかた

- 1 「ALC」にカーソルを合わせ、設定ボタンを押す。  
→SUPER-D II 設定画面が表示されます。



- 2 カーソルを「SUPER-D2」に合わせ、左ボタン、右ボタンでON/OFFを切り換える。

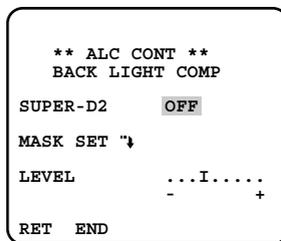
「ON」に設定した場合：手順7へ  
「OFF」に設定した場合：手順3へ



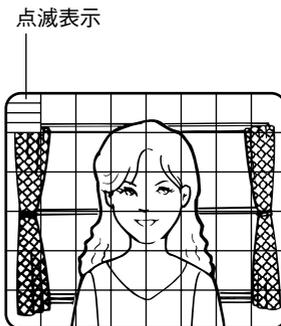
- 3 カーソルを「MASK SET」に合わせ、設定ボタンを押す。

→画面を48ブロックに分割したマスク設定画面が表示されます。

マスク設定画面では左上のブロックが点滅表示されています。



- 4 背景の明るい部分のブロックにマスクをかける。画面の点滅表示を左ボタン、右ボタンでマスクをかけたいブロックに合わせ、設定ボタンを押す。  
→マスクがかかっているブロックにカーソルがある場合、横縞と白が交互に表示されます。



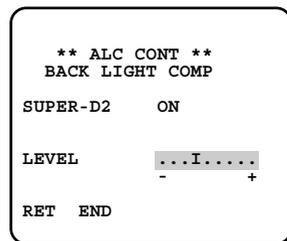
# SUPER-D II 機能を設定する

- 6 手順5を繰り返して、マスクをかけたいブロックを設定する。設定が完了したら、設定ボタンを2秒以上押す。  
→SUPER-DII 設定画面に戻ります。

- 7 映像出力レベルを調節するときは、カーソルを「LEVEL」に合わせ、左ボタン (-)、右ボタン (+) で調節する。

## <SUPER-DII をONに設定した場合>

レベルを上げすぎると、ちらつき、ノイズなどが多くなる場合があります。



# 電源同期モード(LL) の位相を調節する

- 1 「SYNC」を「LL」に設定し、設定ボタンを押す。  
→位相調節画面が表示されます。

```
  ** CAM SET UP **
CAMERA ID   OFF  ↵
ALC         ALC  ↵
SHUTTER     OFF
AGC         ON (DNR-H)
SENS UP     OFF
SYNC        INT
WHITE BAL   ATW1 ↵
MOTION DET  OFF

MENU
END         SET UP ENABLE
```

- 3 V PHASE（垂直位相）を調節する  
カメラの映像出力信号と基準のカメラの映像出力信号を二重オシロスコープに接続する。

- 4 カーソルを「COARSE」に合わせる。

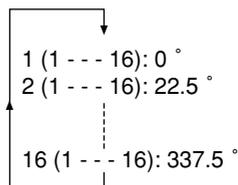
```
  ** SYNC **

V PHASE
COARSE      1(1--16)
FINE        I.....+
            -.....+

RET  END
```

- 5 オシロスコープを垂直レートにセットし、オシロスコープの垂直同期部を拡大する。

- 6 左ボタン、右ボタンで両方の垂直位相を調節する。  
22.5° ずつ16段階で調節する。



- 7 カーソルを「FINE」に合わせ、左ボタン (-)、右ボタン (+) で両方の垂直位相を調節する。

## <カーソルについて>

- カーソルは右端の「+」までくると、「-」に戻ります。
- 左ボタン、右ボタンを2秒以上押し続けると、移動速度が速くなります。
- 左ボタン、右ボタンを同時に2秒以上押すと、工場出荷時の状態に戻すことができます。

```
  ** SYNC **

V PHASE
COARSE      1(1--16)
FINE        I.....+
            -.....+

RET  END
```

## 電源同期モード(LL) の位相を調節する

### <重要！>

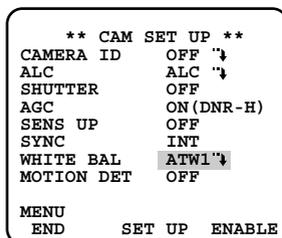
- この設定は後面の映像出力端子にVD2信号を入力していないときだけ設定できます。また、60Hz地域のみ設定でき、50Hz地域では使用できません。
- この設定はディップスイッチでも行えます。詳しくは9ページをお読みください。

# ホワイトバランスを微調節する

ホワイトバランスを自動調節したあと、手動で微調節します。  
ホワイトバランスの設定については15ページをお読みください。

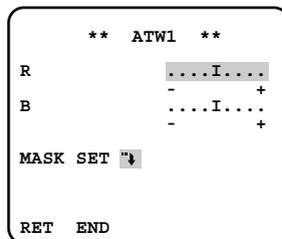
- 1 カーソルを「WHITE BAL」に合わせ、設定ボタンを押す。

→微調節画面が表示されます。



- 2 カーソルを「R」「B」に合わせ、左ボタン (-)、右ボタン (+) で微調節する。

「R」は赤色、「B」は青色を表しており、「+」に動かすと色が強く、「-」に動かすと、色が弱くなります。

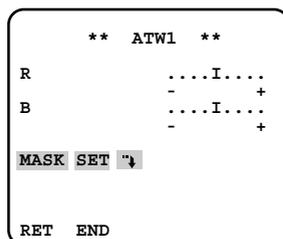


## < 「ATW1」「ATW2」「AWC」の検出範囲を設定する場合 >

ホワイトバランスは、画面上の色温度を自動的に検出し調整していますが、画面上に明るすぎる光源などがあると、正常に調整することができない場合があります。このようなときは、明るすぎる光源などにマスクをかけ、検出しないように設定することができます。

- 1 微調節画面でカーソルを「MASK SET」に合わせ、設定ボタンを押す。

→マスク設定画面が表示されます。



- 2 SUPER-D II機能のマスクの設定 (21ページ) の手順に従ってマスクを設定する。

# モーションディテクターを設定する

## モーションディテクター機能について

モーションディテクターをONにすることによって、1/48ブロックごとに画面の動き(輝度変化)をとらえ、他の機器にアラーム信号を出力できます。例えば、動きを検出したときに、ビデオにアラーム信号を送り録画を開始するよう設定することができます。

### 検出条件

- 被写体の大きさ : 動く物体は画面の1/48以上の大きさが必要。
- 被写体のコントラスト : 背景画像と動く物体のコントラスト比が5 % (最大感度設定時) 以上必要。
- 被写体の動く速さ : 画面の端から端までを物体が通過する時間が0.1～0.8秒以上必要 (コントラスト比5 %の場合)。これより速い物体は検出できません。

### <重要！>

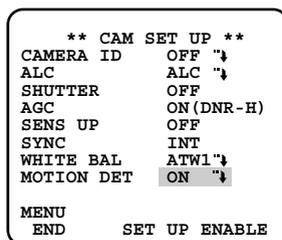
コントラスト比によって被写体の大きさや動く速さの制限は異なります (コントラスト比 (明暗の差) が大きいと緩和されます)。

### デモモード

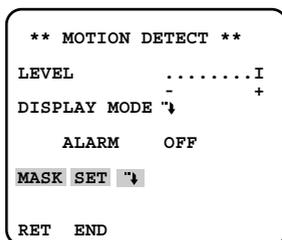
48分割した各ブロックの検出有無を画像で確認し、動きを感知する感度を調節したりマスク範囲を確認できます。

## 設定のしかた

- 1 「MOTION DET」を「ON」にし、設定ボタンを押す。  
→動き検出設定画面が表示されます。



- 2 カーソルを「MASK SET」に合わせ、設定ボタンを押す。  
→マスク設定画面が表示されます。



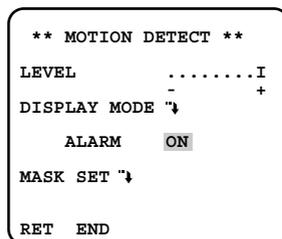
- 3 SUPER-D II機能のマスクの設定（21ページ）の手順に従ってマスクを設定する。
- 4 マスク範囲設定後、設定ボタンを2秒以上押して、動き検出設定画面に戻る。  
デモモードでアラーム信号を出力するときは手順5へ  
デモモードでアラーム信号を出力しないときは手順6へ

- 5 動きを感知したときのアラーム信号をデモモードで出力したいときは、カーソルを「ALARM」に合わせ、左ボタン、右ボタンでONに設定する。

### <重要！>

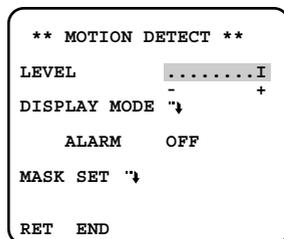
次に示すコントローラーを使用している場合、「ALARM」を「ON」にすると、デモモードでアラームを検出したとき、コントローラーの仕様により設定画面を終了し、通常画面に戻ります。

- ・対象コントローラー：WV-RM70、WV-CU550、WV-CU550C、WV-CU151



# モーションディテクターを設定する

- 6 カースルを「DISPLAY MODE」に合わせ、設定ボタンを押す。  
→デモモードになります。マスク設定画面が表示され、48分割のマスク範囲が点滅し輝度の変化を検出します。
- 7 カースルを「LEVEL」に合わせ、左ボタン (-)、右ボタン (+) で感知レベルを調節する。
- 8 手順2～7を繰り返して、最適のレベルにする。



# カメラの画質を調節する

カメラの画質に関する各種設定を行います。

** SPECIAL **	
①	UP SIDE DOWN OFF
②	CHROMA GAIN .....I.....
③	AP SHARP .....I.....
④	PEDESTAL .....I.....
⑤	HUE .....I..... - +
⑥	EL-ZOOM OFF
⑦	BW OFF
⑧	BURST (BW) ON
⑨	CAMERA RESET →PUSH SW RET END

## ①画像を上下反転する (UP SIDE DOWN)

画像を上下反転させるかどうかON/OFFで設定します。

ON：上下反転させます

OFF：上下反転させません

### <重要！>

この設定はディップスイッチでも行えます。詳しくは9ページをお読みください。

## ②クロマレベル (色度) を調節する (CHROMA GAIN)

クロマレベル (色度) を調節します。左ボタン、右ボタンでカーソルを動かします。カラービデオモニターを見ながら、調節してください。

## ③アパーチャレベルを調節する (AP SHARP/AP SOFT)

アパーチャレベルを調節します。左ボタン、右ボタンでカーソルを動かします。「-」方向に動かすとソフトな画面に、「+」方向に動かすとシャープな画面になります。カラービデオモニターを見ながら、調節してください。

### <重要！>

- AP SHARP/AP SOFTは設定ボタンを押すと切り換わりますが、この設定に関係なく、カーソルを左端の「-」の位置まで動かすと一番ソフトな画像に、右端の「+」の位置まで動かすと、一番シャープな画像になります。
- SHARP/SOFTどちらの設定にするかは、ディップスイッチでも行えます。詳しくは9ページをお読みください。

## ④ペDESTALレベルを調節する (PEDESTAL)

ペDESTALレベルを調節します。左ボタン、右ボタンでカーソルを動かします。「-」方向に動かすと暗い画面に、「+」方向に動かすと明るい画面になります。カラービデオモニターを見ながら、調節してください。

# カメラの画質を調節する

## ⑤クロマ位相（色調）を調節する（HUE）

クロマ位相（色調）を調節します。左ボタン、右ボタンでカーソルを動かします。ベクトル色度指示器がカラービデオモニターを見ながら、調節してください。

## ⑥電子ズームを調節する（EL-ZOOM）

電子ズーム機能のON/OFFを設定します。

ON：電子ズーム機能を使用します。約2倍まで倍率を上げることができます。

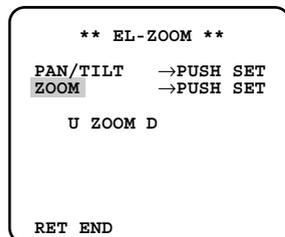
OFF：電子ズーム機能を使用しません。

1 「EL-ZOOM」を「ON」にし、設定ボタンを押す。

→電子ズーム設定画面が表示されます。

2 「ZOOM」にカーソルを合わせ、設定ボタンを押す。

→電子ズームを設定できる映像画面が表示されます。

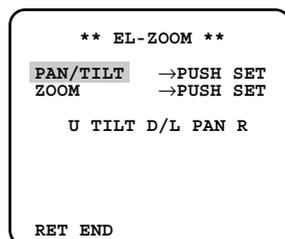


3 下ボタン、上ボタンを押し、ズームを調節する。調節が終わったら、設定ボタンを押す。

→電子ズーム設定画面に戻ります。

4 「PAN/TILT」にカーソルを合わせ、設定ボタンを押す。

→パン、チルトを設定できる映像画面が表示されます。



6 下ボタン、上ボタン、左ボタン、右ボタンを押し、アングルを調節する。調節が終わったら、設定ボタンを押す。

→電子ズーム設定画面に戻ります。

## <重要！>

- 「PAN/TILT」は電子ズームの倍率を上げているときのみ有効です。
- リモートコントローラーからのZOOM、PAN、TILT操作でも設定できます。

## ⑦カラー映像と白黒映像を切り換える（BW）

画面の明るさ（照度）によって、カラー映像と白黒映像を自動的に切り換えるように設定します。設定すると、暗い場合は白黒映像に明るい場合はカラー映像になります。また、画面表示をカラー映像と白黒映像のどちらかに固定して表示させることもできます。

AUTO1：画面の明るさ（照度）によって自動的にカラー映像と白黒映像を切り換えます。設定すると、AUTO設定画面が表示されます。

AUTO2：光源を検出し、画面の明るさ（照度）によって自動的にカラー映像と白黒映像を切り換えます。

照度の変化が著しい場合や赤外線光を使っている場合など、光源を検出することによって、誤動作を防ぎます。

設定すると、AUTO設定画面が表示されます。

ON : 白黒画像を表示します。

OFF : カラー画像を表示します。

**1** 「BW」にカーソルを合わせ、「AUTO1」または「AUTO2」に設定し、設定ボタンを押す。

→AUTO設定画面が表示されます。

**2** 「LEVEL」にカーソルを合わせ、白黒映像に切り換える照度を設定する。

LOW：カメラ周囲の照度が約2 lx以下のときに白黒映像に切り換えます。

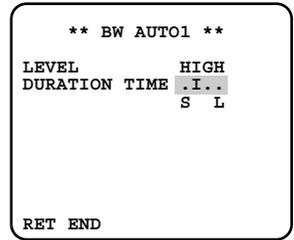
HIGH：カメラ周囲の照度が約5 lx以下のときに白黒映像に切り換えます。

```
    ** BW AUTO1 **
LEVEL          HIGH
DURATION TIME .I..
              S L
RET END
```

# カメラの画質を調節する

- 3 「DURATION TIME」にカーソルを合わせ、左ボタン、右ボタンで白黒画像に切り換えるまでの時間を設定する。

設定時間：10秒－30秒－60秒－300秒  
(S) (L)



## <重要！>

- AUTO1、OFFの切り換えおよび白黒映像への切換レベル（HIGH/LOW）の設定は、ディップスイッチでも行えます。詳しくは9ページをお読みください。
- 光源の判断は、CCD撮像素子の情報により簡易的に判断しているため、たえず動いている被写体や全画面が一定の色の場合、うまく判断できないことがあります。「AUTO2」を設定する場合は、光源の波長800 nm以上で使用してください。

## ⑧バースト信号の出力を設定する（BURST BW）

バースト信号の出力をON/OFFで設定します。

ON：バースト信号を出力します。

OFF：バースト信号を出力しません。

## <重要！>

通常はONにしてご使用ください。モニターやVTRなど種類によってはバースト信号がないと正常に映像が表示されない場合があります。

## ⑨設定内容を工場出荷時の状態に戻す（CAMERA RESET）

設定内容をリセットして工場出荷時の状態に戻します。

- 1 「CAMERA RESET」の「PUSH SW」にカーソルを合わせる。  
→「PUSH SW」が反転表示します。

- 2 左ボタンと右ボタンを押しながら、設定ボタンを2秒以上押し続けます。すべての設定メニューの内容が工場出荷時の状態に戻ります。

## <設定メニューを個別にリセットしたいときには>

リセットしたい設定メニューにカーソルを合わせ、左ボタンと右ボタンを同時に2秒以上押します。

# 仕様

電源	AC24 V 50/60 Hz
消費電力	3.7 W
撮像素子	1/3型インターライン転送方式CCD
有効画素数	768 (H) × 494 (V)
走査面積	4.8 (H) × 3.6 (V) mm
信号方式	NTSC方式
同期方式	内部同期、電源同期、多重VD同期 (VD2)
走査方式	2 : 1インターレース
走査周波数	水平 : 15.734 kHz、垂直 : 59.94 Hz
映像出力	VBS : 1.0 V [p-p] / 75 Ω (BNCプラグ)
解像度	水平 : 570TV本以上 (白黒モード)、 480TV本以上 (カラーモード)
最低照度	0.3 lx (白黒モード)、2.4 lx (カラーモード)
S/N	50 dB以上 (AGC : OFF)
使用温度範囲	-10 °C ~ +50 °C、湿度90 %以下 (結露しないこと)
寸法	直径152.5 mm×高さ133 mm
質量	約1.1 kg
仕上げ	本体 : アルミダイカスト 新OAアイボリー色 (マンセル5.5Y 7.5/0.3近似色) ドーム部 : スモークポリカーボネート樹脂

修理・お取り扱い・お手入れ  
などのご相談は…  
まず、お買い上げの販売店へ  
お申し付けください

## ■保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのもと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

## ■補修用性能部品の保有期間

当社は、このカラーテレビカメラの補修用性能部品の、製造打ち切り後7年保有しています。

注) 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

## 修理を依頼されるとき

まず電源を切ってから、お買い上げの販売店へご連絡ください。

### ●保証期間中は

保証書の規定に従って、出張修理をさせていただきます。

### ●保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

### ご連絡いただきたい内容

品名	カラーテレビカメラ
品番	WV-CW474F
お買い上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に

## ●修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

**技術料** は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

**部品代** は、修理に使用した部品および補助材料代です。

**出張料** は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

## 便利メモ (おぼえのため、記入されると便利です)

お買い上げ日	年	月	日	品番	WV-CW474F
販売店名	☎ ( ) -				

松下電器産業株式会社

松下通信工業株式会社 セキュリティ&セーフティ事業部

〒223-8639 横浜市港北区綱島東四丁目3番1号 ☎ (045) 531-1231 (大代表)